

## d. リサイクル活動

キャンパスライフで  
リサイクル&リユース!

### 【環境リサイクル市】

学生有志からの発案で、卒業生のごみ搬出減、新入生への低価格の物品提供を目的とし毎年環境リサイクル市を3月の合格発表日に行っています。収益金は、温暖化対策として、構内の壁面緑化支援にも役立っています。



### 【エコ・キャンパスライドシステム】

エコ・キャンパスライドシステムとは、自転車のリユースの事です。回収された放置自転車ならびに、卒業時に学生が所有権を放棄した自転車を選別修理して、貸出をしています。



## e. 社会貢献活動

地域への  
貢献!

### 【地域協定による展覧会】

刈谷駅近くの空き店舗を利用した「アクアモール刈谷交流ひろば」で本学学生らによるあかりの展覧会「光藝(こうげい)展-みんなでつくるあかりの展覧会-」が1月に開催されました。昨年本学と刈谷市等の4者が「刈谷市中心市街地活性化のための連携・協力に関する協定」を締結、この活動の一環として空き店舗の活用による学生の活動拠点づくりが進められ、プレオープニングイベントとして初の展覧会の開催となりました。さまざまな素材を生かしたあかりをテーマにした展覧会で作品は本学の教員と美術選修・美術専攻の4年生6人がそれぞれテーマ、材料を選び素材を生かした個性豊かな作品の出品展示を行いました。



### 【地域への貢献活動】

本学バス停前ロータリーに巨大な龍のイルミネーションが12月1日～1月22日まで登場しました。龍は大きな口を開けしっかりと持った宝珠は提灯で、炎の中に本学創立周年記念を表す「60」の数字が描かれています。これは美術選修・美術専攻の2年生31人が8月から構想を練り10月から制作してきたものです。なお点灯期間中はバス停周辺の外灯を消灯し省エネにも配慮しました。



また点灯期間終了後、高齢者が入居する施設「グループホームなごみや」に貸出され、施設関係者は「イルミネーションが入居者の癒しになり、地域の人の憩いの場として利用され、これを機に本学学生との交流も深まればうれしい」と話していました。

## 環境重視型エコキャンパスの 創造に向けて



愛知教育大学長 松田 正久

愛知教育大学憲章の精神に則り本学の豊かな自然を生かし、人にやさしいキャンパス環境づくりを進め、環境と安全に配慮した持続可能な未来社会実現のための教育研究に努めてきました。

国立大学法人としての第二期中期では、附属学校園を含むキャンパス整備6ヶ年計画を定め、環境配慮型エコキャンパスを創造し、快適な教育・研究環境づくりを進めます。

### ● 環境管理組織



## 国立大学法人 愛知教育大学 Aichi University of Education 環境報告書 2010 ダイジェスト

国立大学法人 愛知教育大学 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 http://www.aichi-edu.ac.jp  
 保健環境センター・財務部施設課 TEL 0566-26-2194 (保健環境センター) 0566-26-2152 (施設課)  
 E-mail:kankyo-h@auecc.aichi-edu.ac.jp  
 デザイン協力: 愛知教育大学 美術教育講座 工芸研究室

ユニバーサルデザインフォントとは UD (年齢・性別や障害に関係なく、あらゆる人が商品・サービス・住居・施設を快適に利用できるように配慮されたデザイン)の視点にもとづいてデザインされた書体です。



この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています

### ● 通常の生活ごみ ●

廊下などに設置  
缶 ペットボトル  
ビン プラスチック  
不燃ごみ  
燃ごみ

クラブ・サークル課外活動から出る廃棄物  
学生支援課に聞いてください

建物ごとに設置  
乾電池 蛍光灯 ガラス 金属

大学祭などから出る廃棄物  
実行委員会に聞いてください

分別カードを  
持ち歩こう!

財布等に入れて、いつでも確認できるようにしておきましょう。



# Environment 環境報告書 2010 ダイジェスト Report

国立大学法人  
愛知教育大学  
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

1. 全学を挙げての環境重視型大学を実現するための体制整備
2. 教育大学としての特徴を生かした環境に関する教育研究の推進
3. 豊かな自然環境を保全活用した環境負荷の少ないキャンパスづくり



## a. 環境に関わる教育・研究

環境分野の  
メニューも  
充実!

### 【市民の意識と行動力でつくる環境重視型文化】マイヤー研究室

環境先進国といわれるドイツから愛教大に赴任されたオリバー・マイヤー准教授は、国際理解選修の教員としてヨーロッパ文化について教え、講義では自分で撮影してきたドイツの都市映像や写真などが紹介されます。

1970年代のオイルショックを機にエネルギー源が無限でないことが意識されてきたのは日本とあまり変わりなく、ドイツに特別な「環境教育」があったわけではなかったといえます。むしろ、現在実施されている資源リサイクル、省エネ、景観保全などの先進的の多くが、国家的な政策によって進んだというよりも、環境に関わる多くの自治体、団体、企業が、そこでより快適に暮らしたいと願う市民の意思や行動力を結びつけた結果、ドイツの環境政策の基盤をつくりあげたのだと考察しています。

### 【「環境と人間」授業について】保健環境センター

「環境と人間」は共通科目の中の主題科目の一つとして開講されています。

愛教大のキャンパスでは、学校教育のすべての教科教育はもちろんですが、その内容の基礎から応用に続く研究、それに加えてさまざまな課外活動が行われ、多くの資源やエネルギーを消費し、たくさんの廃棄物や地球温暖化ガスを排出しています。しかし、一人の行動範囲からキャンパス全体を見通すことは難しく、愛教大全体としての環境管理の状況を知ることができません。保健環境センターの授業では、愛教大キャンパスにおける環境と安全にかかわる課題、環境安全計画・実施・点検・評価、保健環境センターの役割やセンターとしての取り組みを紹介しています。

### 【総合的な学習「大自然の恵み」での活動】附属名古屋小学校

小学校5年生の総合的な学習では「大自然の恵み」をテーマに、教室前の学級園を野菜畑や様々な水生生物が暮らせるようなビオトープとして活用し、栽培活動や観察活動に取り組みました。

活動中にはもちろん収穫の喜びを味わうこともできましたが、一生懸命育てた稲がスズメにすべて食べられてしまうようなこともありました。

またビオトープでは、ヤゴがトンボに羽化する瞬間を実際に観察することができたり、理科の実験で育てたメダカの稚魚が再び卵を産み次の世代が誕生していく様子を長期にわたって観察することもできました。

## b. 環境コミュニケーション

環境活動に  
参加し快適な  
キャンパス  
ライフへ!

### 【キャンパスミーティング】

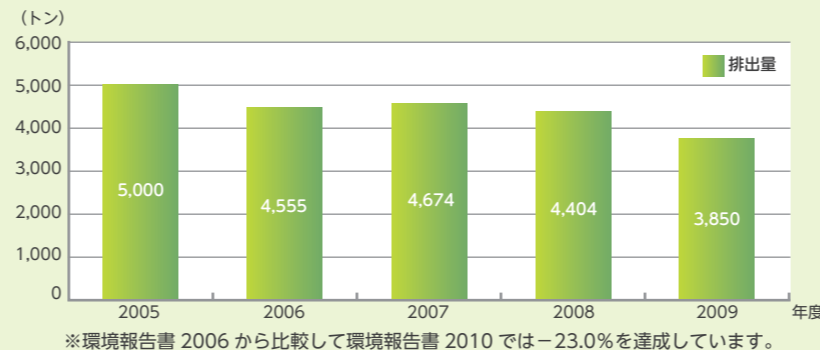
年に一度教職員・学生が集まり学内の諸問題について話し合う「キャンパスミーティング」を開催しています。これは学生の意見を直接聞き、一人の学生の意見であれ尊重し取り上げることの出来る他大学はあまり類をみない仕組みです。多数の方の参加をお待ちします。



## c. 環境への配慮

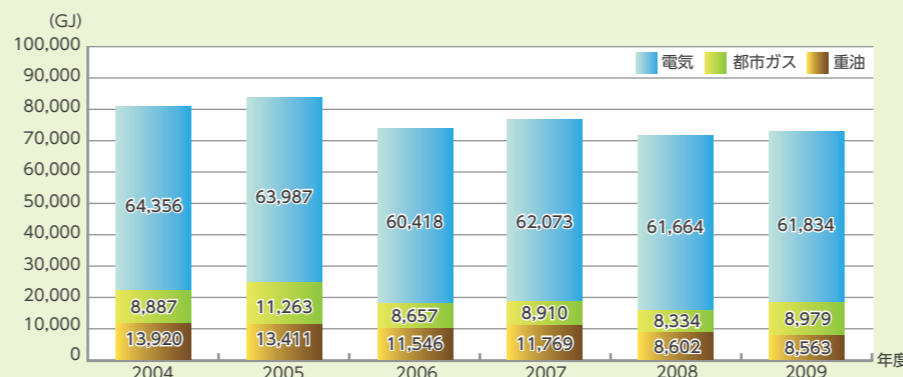
環境重視の  
エコキャンパスへ!

### 【二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量】



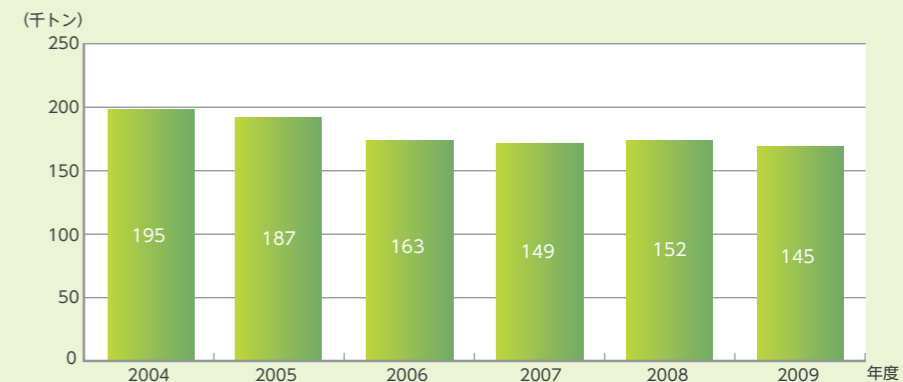
### 【総エネルギー投入量(GJ)】

本学の過去6カ年の総エネルギー投入量(GJ)を検証すると、2007年度は気候の影響により、2006年度より増加しましたが、2008年度は、2006年度よりも、減少し、過去最も少ない総エネルギー投入量に抑えることができましたが、2009年度はわずかながら増加しました、原因としては教員免許講習制度による、夏期休暇中の講義室の使用が主な要因と推測されますが、省エネに対する認識と、省エネ対策による効果が表れるようにさらに努力したいと思います。

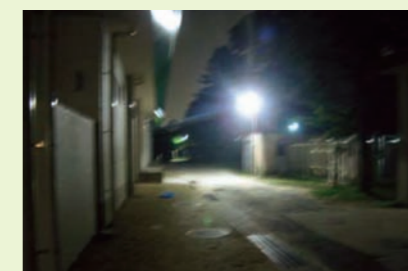


### 【水資源使用量状況】

本学の給水使用量は、便所等の節水対策工事や節水啓発活動で年々減少傾向にあります。しかし、2008年度はプール使用量の増加やグラウンドの漏水などの影響で、増加に転じました。2009年度は2007年度レベルに落ち着きましたが、増加傾向にならないように努めます。さらなる節水対策として、農業用水の利活用や地下水利用についても計画中です。



### 【省資源・省エネルギー対策】



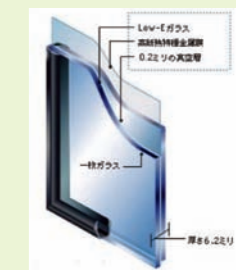
LED 照明器具の採用



太陽光発電設備の設置



講義室に設置された空気攪拌ファン



真空断熱ガラスによる空調負荷低減

### 【環境ミーティング】

環境問題及び環境への取り組みについて、学生と教職員等とが広く意見交換を行う場が、環境ミーティングです。毎年数回開催し、大学の環境目標・計画や環境報告書の作成及び学生主体の環境活動について意見交換を行います。環境に関心のある人、そうでない人もどんどん参加して下さい。



### 【キャンパスクリーンディ】

教職員学生ひとりひとりの学内美化に対する意識を高め、教育・研究の場にふさわしいキャンパスにするため「キャンパスクリーンディ」を実施しています。



分別カードを  
持ち歩こう!

財布等に入れて、いつでも確認できるようにしておきましょう。

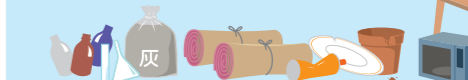
### ●教育研究活動から出る廃棄物●

種類ごとに分別して専用集積所に運ぶ



●古紙(新聞・OAペーパー等)

運ぶ前に教職員に  
聞いてください



●実験系廃棄物、薬品類、薬品汚染物、実験廃液、原材料系廃棄物、粗大ごみ(ガラス・プラスチック器具・試験容器・金属くず等)